

NPO 法人 やまぼうし自然学校 ニュースレター

2019-2020年 冬・初春号（3月19日発行）

きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきます。



思い出の工作 今もふたりの机の上に
(長野校) 3 ページ 甲田様提供

代表理事のひとりごと



加々美 貴代 (がみちゃん)

お陰様で2020年3月21日、NPO法人認証20年を迎える。任意団体として活動を始めて25年、私が勤め始めて18年、代表理事になって12年。あつという間でもあり、長い時間でもあり、過去が有るから今が有り、時間と経験の積み重ねを感じる。森あちよびクラブに2歳で参加していた子が、今年森でモリモリ遊び隊を卒業した。親でもない大人が、同じ子どもの成長を10年間も見続ける貴重な経験もさせてもらった。他にも多くの子どもや大人が「やまぼうし自然学校」というおもちゃ箱（森、自然、体験、講座）の中から、自分が好きなもの、やってみたいこと、知りたいこと、を選び、関わり、それぞれの「場」で生かしていると信じている。自然の中での様々な活動は「ひと」にそんな力を与えてくれる。これからも、いつまでも。そのためにも守ろう、身近な自然、地球、子どもの未来。

スタッフよりひとこと



この度の一大事により、学校から家庭への連絡はメディアに頼り切ったものになりました。高校生は課題提出にも必需品。こんな時代の休校中、WiFi断ってしまう他にどうやってコントロールしたらよいのでしょうか？
保母 裕美 (ほぼちゃん)



いい歳して、ガチャガチャにはまってしまった。リアルなダンゴムシやダイオウグソクムシのフィギュアが欲しくて何回も挑戦するがお目当てのものが出ない。外に出て本物に出会う確率の方が高い事に気付くが覆水盆に返らず。
平林 丈嗣 (ひらりん)



愛車が故障。代車としてやってきたのは、MT車。そもそも運転が苦手な私のところになぜ？いかに信号で止まらずに、一時停止と右折のない道を選ぶかが勝負の日々。なんとか試練を乗り越えて、少したくまくなりました。
松尾 信子 (まつっん)



後輩への卒業ムービーを依頼され、急遽作成開始！「こちら菅平高原。現在-5℃です。心頭滅却すれば火もまた涼し。仕事で頭を冷やしたくなったら、是非来てくださ〜い」生誕25年、気の利いたことも言えない今日この頃…
田辺 秀 (アロハ)



元々本を読むことが好きで本屋に行っては最低1冊購入。でも社会人になって時間がない、と言っていたら積読(つんどく)だらけに。今年度は言い訳せず時間を上手に使って、少しずつでも読書量を増やしていきます！
千明 彩 (ぎらちゃん)



春咲小紅、唇よ、熱く君を語れ、マイ・ビュア・レディ、う、ふ、ふ、ふ、不思議なピーチパイ等々、昔の春の化粧品キャンペーンソングの名曲達。これらの歌を聴くと思わず春の麗か感を覚えてしまう。春ももう直ぐかな。
岩岡 義雄 (いわちゃん)



冬の趣味は編物。かぎ編みでひざ掛けやラストールやらを毎年編んでいる。できるだけ長い間編みたいが、暖かくなると手汗をかくので毛糸の滑りが悪くうまく編めない。今年はいつもより早く編み物の季節は終わりがちかも。
小菅 彩 (こあちゃん)



コロナ禍でお籠りの日々。久しぶりの外出はポカポカ陽気だったので隣駅から大きく遠回りして帰ることにした。道すがら「亀の子束子」本社を発見。近所なのに今日まで気づかなかった！創業明治40年。束子を買って帰った。
石川 順子 (じゅんこさん)



今年度でフォレストキッズを終了。最後の活動の中止を下さなければならぬ悔しさ、切ない気持ちでいっぱいです。5月までに落ち着いたら計画しますと約束しましたが、感念拡大のニュースばかり。一日も早い終息を願います。
仲川 好乃 (よっちゃん)



発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
代表 Email：contact@yamaboushi.org URL：https://www.yamaboushi.org/

一わたしたちは春夏秋冬、長野本校と埼玉校・東京校で活動していますー

20周年 year スタート!

NPO 法人認証20年目の年が始まりました。
 今回のニュースレターも前号に続き、やまぼうし自然学校に関わる
 「人」と「菅平というフィールド」をテーマにお届けします。



イラストレーター サノマキコさんのご紹介

みなさん、やまぼうしのホームページや封筒、ちらしなどで、一度はこの女の子を見たことがあるのではないのでしょうか。私たちは愛情を込めて「みずきちゃん」と呼んでいます。このキャラクターは、ちょうど10年前の2010年に誕生しました。

2月の終わり、職員がInstagramを見ていたところ、偶然上記の投稿を発見！キャラクターの生みの親であるイラストレーター、サノマキコさんのもっともステキなあたたかいメッセージ。この出来事をきっかけに新たな繋がりが生まれ、この投稿をニュースレターに載せたい！という願いを快諾していただきました。

これまでの10年をともに歩んできたキャラクターたち、この先も引き続き可愛がっていただければと思います。



*サノマキコさんの他の作品はこちらからご覧になれます。
 ホームページ <http://sanomakiko.com/>

やまぼうし自然学校 20周年記念イベント開催決定!!
 2020年11月7日(土)・8(日) 菅平高原にて 詳細は次号でお知らせします

遊び隊卒業生の保護者様より

(2006年 長女・朋さん 次女・萌さん) 保護者 佐藤良孝様

「菅平の大木に!!!」 佐藤良孝

まずは、20周年おめでとうございます！
 いろいろ苦勞もあったと思います。最近はお私の周囲でも確実にやまぼうしの知名度があがっています。木が育つように、20年、30年と年輪を重ねて日本いや、世界のアウトドア界の大木となってください。



さて、我が家の子どもたちが参加させていただいたのは確か、2006年ですから14年前になります(早いものですねえ...)。たしか、子どもたちが小学校で遊び隊のチラシをもらってきたのがきっかけだったと思います。近所に住んでいた友人宅と子ども4人でエントリー。まだ、遊び隊も始まったばかりで、試行錯誤の頃だったそうですね(後から知りました)。当時はずけちゃん、きたちゃん、アッキーが主担当でした。楽しかったのですが、ただ一つ後悔したのは、いつも一緒に申し込んだ4人で行動していたようで、遊び隊の中で新たな友達はできなかったようです。グループ分け等で強制的に分けていただくのも良かったかもしれませぬ。



お世話になった中で、一度だけ苦情を言わせていただいたのは、時間の管理でした。始まった頃、遅刻してくる子ども(親?)も多かったのですが、スタッフの皆さんは結構待っていました。ですから、開始は毎回遅れていました。何ヶ月かたって、「時間通りに来ているのに待ちぼうけになるのは変じゃない?アウトドアでは時間は大切だね?」と、思い切って言ってみました。でも、すぐにご理解いただけ、翌月からは改善されていました。もちろん、隊員を待っているのも優しさなのですが、約束・時間を守ることも大事なことはないかと思えます。と、偉そうに書いていますが、実はすっかり忘れていただいぶ経ってから、ずけちゃんに聞きました。



子どもたちは1年で卒業してしまいましたが、なぜか私だけ一向に卒業できず、時々事務所に顔を出して、「大人イベント(アルコールのあるやつ)やろうよ〜」と、スタッフを困らせております。これからもよろしくお願ひしませぬ!

失礼ながらも「にくちゃん」と愛称で愛情を込めて呼ばせて頂いています。私は遊び隊の担当では無かったので、お子さんが隊員だった頃は知りません。当時のスタッフが「それぐらいは手伝うから、声かけてね」と保護者の方が言ってくれて助かった、と喜んで報告があったのがにくちゃんでした。それ以来のお付き合いです。今ではご家族で正会員としてご協力頂いています。これからも応援、よろしくお願ひいたします。 加々美 貴代



2017年のボナパーティイベントにご家族で♪

遊び隊卒業生の保護者様より

(2006~2007年 長男・靖典さん 2006~2009年 次男・明寛さん) 保護者 甲田令子 様

「遊び隊の思い出と子どもたちの成長」 甲田令子

今は20歳を過ぎた子どもたちにとって、やまぼうし自然学校での体験・経験は貴重でかけがえのないものであり、親にとっても大切な時間であったと、感謝の気持ちでいっぱいです。



参加のきっかけは私・母親の乳がん治療です。「遊びに連れていけない、どうしよう」と思った時に活動を知り、夫も「送迎ならできる」と遊び隊に入りました。



長男・靖典には知的・身体の障がいがあります。当時小学高学年でしたが、“できないこと”が沢山あり、またコミュニケーション難もあるのですが、スタッフの皆様、そして子どもたちが気持ちよく受入れて下さり、楽しく、自然の中で活動させていただきました。障がいがあるからこそ“必要な”体験であったと思います。24歳の今は福祉事業所に通い、余暇ではスポーツを楽しんでおり、たまに「がみちゃん(加々美代表)」「すけちゃん」「アッキー」「はせじい」をはじめ皆様との思い出を語ることもあります。

次男・明寛は遊び隊を満喫！迎えに行くと土だらけ、雪だらけ！！アウトドア料理好きの父親が「火おこし上手いなあ」と家庭キャンプでも頼りにするほど達人に！大雨の中でのキャンプや雪の中での1日…ゲームではなく自然相手に五感を使ってたっぷり遊び、逞しさを身に付けました。人との関わりも学び、その後中学・高校・大学と友人、部活の先輩・後輩、大人とも良い関係を築いています。今は情報ツールで新たな社会システムをつくる学問を専攻していますが、根っこに自然体験があるのは間違いない！です。



私はきつい治療終了後、子どもと共に活動させていただき、ジビエなども楽しみました。菅平は学生時代から合宿・スキーで訪れていた場所ですが、昨年次男も夜行バスで友人と菅平へスキーに来たりと、もはや『故郷』の一つ。そこにある“やまぼうし”は大黒柱？観音様？大切な存在をこれからも応援します！



現在のやっちゃん(左)とあっくん(右)

甲田さんにはお子さんが遊び隊を卒業してからも、いろいろとお世話になっています。二人のことは今でも懐かしく思い出しています。やっちゃんはずっとニコニコして「きたちゃん、きたちゃん」と慕ってくれている様子が何とも微笑ましかったです。あっくんはお兄ちゃん以外のお友達といつも元気に活動していました。でもお兄ちゃんのことをいつも気にかけてくれる優しい場面をよく見かけました。月日の流れは速いですね。加々美 貴代

こばやしみのる

賛助会員レポート ~小林実さん~



私は北安池田町の山の中に生まれ育ちました。土地は5~6町歩持っています。5~60年前は坪2千円位でしたが、今は買い手もなく、部落も37戸ありましたが今は1軒のみです。前は松茸も多く出ましたが、今は松枯れもあり、ほとんど出ません。出るのはイノシシと竹の子です。竹の子は沢山出ます。

山がどんどん荒れて、手入れできず悩んでいた頃、塩尻林業試験場で里山について講義があり、いろいろ学びました。そんな時に「やまぼうし自然学校」を知り、早速入会して菅平へ20年通いました。

また、16歳の頃より、ボッカや案内などで北アルプスはほとんど登っていました。主に白馬岳、燕岳、槍ヶ岳で白馬岳には800回以上登りました。最近のやまぼうしへの協力は、菅平より上高地のガイドが主になっていきましたが、ここ数年はそちらも少なくなりました。あまり協力もできず申し訳なく思っていますが、やまぼうしの活動は大切です。いろいろ大変かと思いますが、これからも頑張ってください。

実さんとは2001年の森林インストラクター養成講座の同期生です。一緒に受講して以来、なんと19年のお付き合いです。今は上高地白樺自然学校のガイドとしての活動がメインとなっていますが、それ以前は松本から菅平まで体験学習のインテプリターとしてご協力いただきました。安曇野のお宅に前事務局長と泊めて頂いたことも大切な思い出です。加々美 貴代

【長野校】森あちよびクラブ

ちょっとひといき

森あちよびクラブ写真館

冬

一年間、ありがとうございました！

写真・松尾 信子

やまぼうしフィールド紹介 ～自然体験の森～ その2



前号に続き、やまぼうしの生き字引、加々美代表による自然体験の森の歴史話をお楽しみ下さい。



2003年に「JT 助成活動」として日本たばこ産業の『地域振興に根ざした「環境学習の森」設置事業』を目的として助成を頂いて完成した炭窯の続きです。前号では炭窯が完成するまでを紹介しました。今回は完成のお披露目や炭窯以外の「もの」について振り返ってみます。自然体験の森には他に、「縄文窯」と「野鳥観察小屋」も翌年に設置をしました。残念ながらどちらも現在はありません。ただし縄文窯は今年再生する予定です。

2003年(※1)7月10日に菅平の皆さんにご報告を兼ねた初釜&お披露目を行いました。その際は完成した炭窯と炭焼きの様子を見学して頂きましたが、翌年の9月19日に改めて地域の方々子どもたちをお招きして体験会を実施しました。



炭窯完成



初釜



お披露目

翌年の体験会では、新たな地域資源である「自然体験の森」を活用して「菅平高原うまいものツアー」と銘打って開催をしました。「縄文窯」では菅平特産の甘いトウモロコシや高原野菜、今でも人気の青竹クーヘンや青竹パンを焼きました。燃料はもちろん「炭窯」で焼いた白炭を使い、炭窯の余熱を利用した窯ピザを作って地域の方と楽しみました。あれから16年、写真の子どもたちは成人していますね。



縄文窯



青竹パン



窯ピザ

※1 前号で炭窯完成が2013年となっていたようですが、正しくは2003年です。

※2 長谷G…長谷川功さん、通称はせじい。2008年～2015年やまぼうし職員。



野鳥観察小屋は野鳥観察が大好きだった前事務局長のたっの望みで、廃材を利用して作成されました。覗き穴のある板壁で、隙間から野鳥を観察します。当初の目的よりも、かくれんぼの隠れ場所や、ちょっと用を足すための隠れ場所としての利用が多かったように思います。設置場所は今のコンポストがある辺りでした。平坦になっている所がその名残です。

最後に炭小屋の屋根について。一昨年の大雪で潰れてしまうかと心配になり、16年ぶりの大改修を行いました。棟梁はもちろん長谷G(※2)です。10年後も容易に変えられるよう、カラマツ材主体から単管&ジョイントで作成をしました。ここには長谷Gのやさしい配慮があります。2019年9月15日から開始し、工期7日程で9月末に完成しました。



写真では小さく確認しにくいかもしれませんが、周りの樹々の大きさを比べると月日の流れを感じます。そこに関わる「ひと」が変わっても、過去から未来へと、使っている「場所」や「もの」からも思いの伝達はされるものだとしみじみと感じています。「子どもたちを自然の中へ」の思いから始まったやまぼうし自然学校の活動は「森でつながるいのちのわ」へと発展し、これからもここに集う様々なひとの思いが重なり伝わっていくことでしょう。この場所で体験した子どもや大人、みんなの心の中に、それぞれが感じ取った大切な何かが残ることを願って、今年も自然体験の森での活動を楽しみたいです。 文・加々美 貴代

【長野校】森でモリモリ遊び隊

春から始まった遊び隊も残る季節は冬のみ。暖冬の影響は菅平にもあり、雪が少ない中の活動でしたが、家の周りに雪がなかったりスキー教室が中止になったりした隊員が多かったこともあり、貴重な雪を楽しめました。

第8回 森のクリスマスパーティー&クラフト



クリスマスが近づいていた今回は、木の实や枝を使って自分だけのオーナメントを作成しました！

完成した後は菅平の自然からおすそ分けしてもらったドイツウヒに飾り付けました。パーティーを彩るデザートには焼きりんごを。チョコソースやクリームをのせて、おいしく、楽しい時間を過ごしました。

第9回 冬の森遊び

2020年最初の活動は森の中で思いっきり雪遊び♪6月にキャンプをした場所が見渡す限りの雪原に。

そりやかまからはもちろんのこと、“スノーシュー”や“スノーソー”といった珍しい道具を使って普段とは一味違う雪遊びを楽しみました。大人vs子どもたちの雪合戦が1番盛り上がったのではないのでしょうか。



第10回 思い出会&親子雪遊び



あっという間の最終回！午前は親子一緒に雪遊び。「この道具はこうやって使うんだよ！」なんておうちの人に自慢げに話している姿もちらほら。そり遊びは体重があるほどスピードが出るので、子どもだけでなく、大人も連結して雪しぶきをあげながら滑りました。



午後は遊び隊での思い出を写真と共に振り返り、1人1人がこの1年間楽しかったことを発表しました。話すことが得意な人も、そうでない人も、自分の言葉で話すその姿はとてもかっこよかったです。

隊員の皆さん、1年間森でモリモリ遊び隊に参加してくれてありがとうございました！みんなが自然の中でつけた力はきっとかたえているはず。また会えることを楽しみに、菅平で待っています。

文・千明 彩

【埼玉校】フォレストキッズ

1月11日

恒例のどんと焼きで無病息災を願いました。



1月25日

埼玉県内最古のプラネタリウムです。その日の星空など生の解説は子供たちの心を引き付けます。



2月15日

菅平に行ってきました。バスから朝焼けと、夕焼けをみんなで見た長〜い一日。でもあっという間の一日でした。



※3月は、コロナウィルス感染防止対策の為に中止となりました。

***** 首都圏埼玉支部長 仲川好乃よりご挨拶 *****



2004年より文部科学省「地域子ども教室推進事業」の一貫で始まった「CONE 地域子ども教室」の委託を受け2005年よりフォレストキッズが始まりました。

峰の原高原から所沢に引っ越して半年ほどで活動開始、伝手を頼りに活動場所の開拓をしつつ、どんな自然体験活動が出来るのか、どのように子ども達が自然とふれあい、その大切さを大人にも伝えることができるか、たくさんの方に助言頂きました。多くの下見を重ね、やっと募集に漕ぎつきました。

当時は助成金を受けていたので参加費も少額でした。そのせいもあり応募が殺到し、嬉しい悲鳴。携帯電話の普及率もまだ70%ほどで何をするにも電話、FAX、郵送と手間がかかりました。今、振り返ってみると短時間で良く整えられたと自分でも感心します。

2007年よりやまぼうし自然学校の自主事業となり現在に至ります。これまでフォレストキッズを続けてこられたのもインタープリターのみなさんをはじめ、地域の方々のお力添えのおかげです。何よりの助けになりました。そして主役の子どもたち。やんちゃな子、おとなしい子、様々な性格の子どもたちですが好奇心、探求心旺盛、笑顔はみんな一緒です。私自身一緒に泣いたり怒ったり笑ったりと共に成長し学んだ、楽しく素敵な時間でした。

諸般の事情により2019年度の活動を区切りにフォレストキッズを終了します。この活動を支えてくださったすべての方々へ感謝いたします。本当にありがとうございました。

【長野校】 イベントレポート

スキーピクニック♪

2020年1月19日(日)実施

昨年大きな台風が来て、空の水分がすっかり落ちてしまったかのように、冬になっても雪が降らない、そして暖かい。こんな年に限ってスキーピクニックは定員オーバーになるほどの大盛況！1月から3月の第3日曜日、県内スキー場はリフト小学生無料。地元の公共交通機関バスを利用し、菅平で1日スキーを楽しむイベントです。



この日は21名の小学生が参加。レベル別に分かれ、経験者はすぐリフトに乗り、太郎山頂上へ♪青空と白い山の景色が最高でした。半数は生まれて初めてで、スキーの履き方、エッジの使い方、止まり方を体で覚えるのはとても大変だったと思います。それでも誰もへこたれずに笑顔で取り組んでいました。



お昼はカフェテリアランチ。自分のお財布と相談してメニューを選び、食後のアイスもGET♪午後もう一滑りし、帰路はウトウトしているうちに上田駅到着。お迎えに来たお家の方に早速今日の成果を報告していました。

長野のスポーツとも言えるスキーを、楽しいと思ってくれる子どもたちが、少しでも増えることを願っています。

文・保母 裕美

根子岳スノーシュー☆ 2020年2月22日(土)実施

『にゃ～、にゃ～にゃ～』の日に、根子岳に登ってきました。

『2月22日=ネコの日』と判明したのが、数日前のこと。根子岳の神様が私たちを導いてくれているのかもしれない…いや、きっとそうだろう！

総勢20名のパーティーで楽しんだ、冬ならではの特別な時間。山を降りた後のそれぞれの表情が、今日の日を雄弁に語ってくれます。

冬の根子岳には、夏と違った魅力がいっぱいです。雪と白樺のえもいわれぬ共演。木々の間から見える空の青。澄んだ空気の前に見える遠い町。人から聞いても分からない、写真で見ても伝わらない、自分の五感で味わう感動を参加者の皆様も体験してくれたでしょう。これを機に、冬山の景色に魅了され、根子岳の虜になっていただければ、嬉しい限りです。

最後に、素敵な会にしてくださった参加者の皆様と、ガイドの鳥居建一さんと田中崇さんに感謝いたします。また、来年も楽しみましょう♪



文・田辺 秀

【長野校】 講座案内

やまぼうしインタープリター養成講座

森の遊び方、伝え方を学び、仲間ができる、おとなのための実践講座を今年度も開催します。修了後は、指導者として活躍の場があります。また、終了後の試験に合格するとNEALリーダーに登録することができます。やまぼうしの仲間になってくれる方、絶賛募集中！ご参加お待ちしております。

●開催日●

※水曜コースと日曜コースは同じ内容です
※ご都合が悪い場合は曜日の振替えも可能です
第1回 4/29(水)または5/3(日)
第2回 7/1(水)または6/28(日)
第3回 9/2(水)または8/30(日)
第4回 10/4(日) 予備日 10/11(日)
第5回 10/17(土)
第6回 10/18(日)
第7回 10/28(水)または11/1(日)
第8回 11/22(日)

●開催場所●

菅平高原、第5回木祖敷原、第6回木曾赤沢

●時間●

9時30分受付
9時45分～15時30分

●参加費●

各回3,700円



オプション講座 ～森林インストラクター養成対応講座～

上記の『やまぼうしインタープリター養成講座』のオプションとして、今年度より、『森林インストラクター養成対応講座』を開催します。森林全般についての理解を深めるために、森林・林業・野外活動・安全の4分野を網羅し、座学中心に、各分野を体系的に学ぶことができます。各講座ごとに受講可能ですが、インタープリター養成講座とセット受講により、実習・実技も重視し、本拠地長野県のフィールドを活用して実践を学べます。

●開催日・内容●

第1回 5/2(土) 森林の生態、ネイチャークラフト
第2回 6/27(土) 日本の林業、木材の利用、森林の効用
第3回 8/1(土) 安全管理、学校教育における野外活動
第4回 8/2(日) 自森林の土壌、アウトドア概論
第5回 8/29(土) 森の民俗学、野鳥観察、森林動物

●時間●

第1・2・5回 13時00分～17時00分
第3・4回 9時45分～15時30分

●参加費●

各回3,700円

●会場●

菅平高原



※両講座の詳細はホームページをご参照ください。

首都圏イベントレポート



ボタニカルラボ 2020年2月23日(日)実施

真冬の自然観察とマッサージオイル作り、普段はなかなか出会えないおしゃれな企画に魅かれて参加しました。今シーズンは記録的に雪が少ないと言われていますが、幸いにも前夜から雪が降り出し、外はモノトーンの世界。やっぱり冬の山はこうでない。

午前の部は加々美さんの自然観察会。スノーシューを履いて雪の感触を確かめながら、様々な植物について解説してもらいました。普段なら何気なく眺めるだけの木も、加々美さんの解説を聞いた後では、何だか急に細部まで生き生きと見えてくるから不思議です。シラビソの幹に見える宇宙人の目(落ちた枝の跡)や、地衣類の美しい模様、春を待つ冬芽。厳しい冬も静かに生き抜く木々の力を、確かに感じました。



五感を働かせてお腹が空いたところで、お待ちかねのランチ。信州の食材を使った料理です。牛肉のワイン煮、玄米ピラフ、ハーブティーなど、素材の味がしっかりしていて美味しく頂きました。



午後の部はマッサージオイルとハーブウォーターローション作りです。元理科の先生という講師の石橋さんより、植物の持つ効能を説明して頂きながら、好みの香りを選んで材料を混ぜ合わせました。ちょうど使っていた化粧水がなくなったところだったので、明日から使ってみます。石橋さんの説明は、他にも身体に良い食用オイルの種類や、油汚れの化学式など広範囲に及び、頭の体操もできました。個人的には、自然界に逆らうことをするとどこかに歪みが出るのだな〜という感想を持ちました。文系人間なので、大雑把な理解ですみません…。



短い時間ではありましたが、澄んだ冬の空気の中、木を見つめハーブの香りを楽しみ、植物の力に触れた一日でした。街中には色々なモノ・音・においが溢れていて、その中で人は各々にとっての心地よさを探し求め続けているけれど、大切なことはもっとシンプルで簡単などころにあるのではなかろうかと、ふんわりぼんやり感じた日でした(もっとも、それが意外と難しいことなのかもしれません)。



事前の準備、当日のご対応をして頂きましたスタッフの皆様、ありがとうございました。(参加者：中川ゆり)

首都圏講座・イベント案内

2020年 年間予定

7月 4日(土) 高尾薬王院自然散策会

お気軽! ケブルカー利用&精進ランチ付きの恒例企画。高尾山ビギナーにもおすすめ

11月20日(金) 神奈川宿自然観察会

浦島太郎伝説と風情の残る東海道の宿場で神奈川のルーツを探ります

1月22日(金) 金沢富岡自然観察会

長浜公園の汽水池周辺や富岡八幡の社叢林に飛来する野鳥観察と富岡の寺社林の自然散策を

2月19日(金) 観梅鎌倉自然観察会

海側の景勝地を探訪。極楽寺〜由比ガ浜散策、海鮮料理も堪能します

いずれも定員 20 名程度。ランチまたはお弁当付き 4,500~6,000 円。開催の 1 か月前を目途に詳細を HP にアップします。ご期待ください!

ボタニカル・ラボ 第4回

森を楽しむ講座 2019 特別編



亜高山帯・定点観察シリーズも最終回。
新緑の峰の原高原へぜひ!
ランチは森の中で楽しみます。

テーマ 野草 春の植物観察とハーブソルトづくり
会場 リゾートロッジ「時空の杜」長野県須坂市峰の原高原
日時 5月24日(日) 10:00-15:00
参加費 9,000円(自然観察・講義実験・自然食ランチ付き)
定員 10名程度(先着) *お友達やご家族などペアでご参加の方にプレゼント進呈!

※日帰り設定ですが、別途ご優待価格にて時空の杜に宿泊できます

お問合せは東京校/担当石川まで。詳細案内を送付します。

●電話: 090-5338-5741 ●FAX: 03-5993-4882 ●E-mail: tokyo@yamaboushi.org

令和元年通常総会報告

20回目の節目の年、閏年2月29日に通常総会を開催しました。例年は建国記念日に行っていましたが、中国小学生団体の冬キャンプの受け入れを予定していたため、日程を変更。しかし、準備万端整えていたにも関わらず世界規模のはやり病が影響し、総会開催自体が危ぶまれました。



出席予定されていた首都圏の正会員さんには、急遽委任状を提出いただき、県内在住で自家用車の会員さんには、マスク着用、時間短縮の会議にご出席いただき、前年度事業報告・決算報告と新年度事業計画・予算について承認されました。

***** 総会を終えて～事務局長のひとりごと～ *****



総会開催準備の時期から現在に至るまで、ウイルス感染が拡大しないように子どもから大人まで、皆が気持ちをそろえて対策し、落ち着いて生活しなければならない時間を経験しました。集団での行動がこれほどまでに制限される状況の厳しさは、自然災害やテロなどの脅威に匹敵するものだったと思います。このような経験は、丁寧に後世に引継がなければならない、そして改めて持続可能な社会を皆が目標にしなければいけないと感じました。

やまぼうしのこの10年を振り返りますと、学校団体学習旅行での体験学習の定着、増加が続くシニア層の身近な自然や学びの場の需要が増え、事業運営は安定期でありました。行政からの委託事業は主催者と目的を確認し、企画提案を丁寧に行い、予算のあるものや無いものまで様々な依頼ではありましたが、自然学校としての使命に沿って請け負ってきました。公的なイベントにやまぼうし自然学校のインタープリターが指導者として活躍できるようになり、自然体験活動が地域に浸透し始めたのもこの期間です。

そして上田市周辺の小学生対象「森でモリモリ遊び隊」は3コース100名規模の通年開催事業となりました。「サマーキャンプ in 信州菅平高原コース」もひと夏300名規模となり、リピーターも多く事業継続することができました。長野県や学習協真田支部との協力体制が、首都圏や地元の小学生に安全な野外活動体験と菅平の自然の魅力を提供する基礎となりました。そして近年、中国インバウンド受け入れにつながり、自然体験事業が広がっています。

組織体制が改革されたことも大きな成果です。事業運営優先で人材育成体制の整備が遅れ、職員の働きに対し指導も評価も難しい状況が続く中で、職員の中から働き方改革の意思を示し、それに役員職員一体となって組織改善ミーティングが定期的に行われ、労働環境が改善されてきています。

「継続は力なり」やまぼうし自然学校の良さを、次の10年につないでいきたいと思います。

文・事務局長 保母 裕美

2019年12月～2020年2月の事業実績

■体験学習

上田市立長小・伊那市立伊那西小生活科・桐光学園高女子・桐光学園中男子・桐光学園中女子・板橋区立志村第二中・白百合学園小・二松学舎大附属高・鴻巣市立赤見台中・墨田区立墨田中・国立音楽大附属小・朝霞市立朝霞第四中・キッズ大陸・淑徳小

■ノンスキー

宮崎県立日向高・八王子市立石川中・加須市立大利根中・桶川市立桶川西中・高知県立幡多農業高・高知県立梶原高・長崎県立川棚高・越谷市立光陽中・越谷市立中央中・高知県立宿毛高・杉並区立阿佐ヶ谷中・北本市立北本中・野田市立南部中・国立市立国立第二中・高知県立高知農業高・桶川市立加納中・小平市立第一中・小平市立第四中・桶川市立桶川中

■講座

長野校：上高地ネイチャーガイド養成講座（1回）

東京校：神奈川シニア大学入門・専科コース（5回）黒川ネイチャーボランティア（4回）

■イベント

長野校：おとなのアウトドア・根子岳スノーシュー（会員企画）・スキーピクニック

東京校：横浜野毛山自然観察会・ポタニカル・ラボ

■いつでもスノーシュー・りんごジャムづくり体験 6組20名

■遊び隊・フォレストキッズ・キャンプ

遊び隊（9回）森あちよびクラブ（1回）フォレストキッズ（3回）

スノーキャンプ in 信州（2コース）ベビーレッツゴー中国キャンプ（1コース）

■委託・講師

小諸ミズオオバコたんけんピオトープ・児童スキー研究会・幼保連携型認定こども園にしおか・CONEコーディネーター更新講習講師・ボーイスカウト上田第5団&軽井沢第8団・須坂市教育委員会自然体験学習研修会・上田市教育委員会・MTSデザイン・真田公民館・上田市体育協会・東御の森イベント講師・中国ファミリー・タイYouTuber 他

■事務局（会議・出展・協力・参加）

染屋の森整備・真田長谷寺元旦祝賀祭・長野県次世代教育サミット・杉並区スキー大会旗門員・信州外あそびネットワーク会議・NPO 連携推進会議実行委員会・NEAL 自然部会・CONE 運営委員会・つながる力、地域づくり交流会・中部森林技術交流発表会審査員・信州堂りんご収穫・龍顔寺竹林整備・真田竹林整備・信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会・森林産業シンポジウム・自然教育野外教育推進事業検証会議 他

編集後記

いよいよ始まった20周年 year。若手職員を中心に、記念イベントの計画も着々と進んでいます。

今号も、たくさんの方にご協力いただきました。嬉しいご縁のサノマキコ様。遊び隊後もずっと応援してくださっている保護者の佐藤様、甲田様。長い間インタープリターとして支えてくださっている小林様。急な依頼にも関わらず、素敵なイベントレポートを寄せてくれた友人の中川さん。本当にありがとうございました。

慣れ親しんだこのデザインでのニュースレターは今号で最後になります。次回からは新たなかたちでお届けします。どうぞお楽しみに。（松尾）

***NPO 法人

やまぼうし自然学校とは***

長野県の菅平高原に本部をおき、「森とつながり、森とともに生きることでできる人を育てる」をミッションとして体験学習・キャンプ・いつでもガイドなど、人と森、人と人をつなげる活動を展開しているNPO法人です。1995年に発足し、2000年に長野県では環境系第一号のNPO法人として認証されました。2004年には東京支部、埼玉支部も発足し、「森でつながるいのちのわ」を広げています。